© 魚豊・講談社／「ひゃくえむ。」製作委員会
監督：岩井澤健治　脚本：むとうやすゆき　声の出演：松坂桃李　染谷将太　笠間淳　高橋李依　悠木碧　杉田智和　津田健次郎

好評上映中 ～終了日未定　ひゃくえむ。

（2025／日本／106分）

「チ。地球の運動について」の魚豊の連載デビュー作で、陸上競技の世界で「100メートル」という一瞬の輝きに魅せられた者たちの狂気と情熱を描いた同名漫画のアニメ映画化。長編デビュー作『音楽』が国内外から高く評価された岩井澤健治が監督を務めた。100メートル走を通じてライバルとも親友ともいえる関係となる“才能型”のトガシと“努力型”の小宮を、松坂桃李と染谷将太がそれぞれ演じる。

©2025「てっぺんの向こうにあなたがいる」製作委員会
監督：阪本順治　脚本：坂口理子　出演：吉永小百合　のん　木村文乃　若葉竜也　工藤阿須加　茅島みずき　和田光沙　天海祐希　佐藤浩市

12/20(土)～1/9(金)　てっぺんの向こうにあなたがいる

（2025／日本／130分）

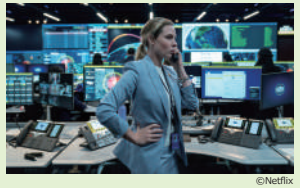
1975年に女性として初めて世界最高峰エベレストの登頂に成功した登山家・田部井淳子の実話をもとに映画化したヒューマンドラマ。エベレスト初登頂から晩年の闘病生活、余命宣告を受けながらも亡くなる直前まで山に登り続けた女性登山家の生涯を描く。吉永小百合の124本目となる映画出演作で、阪本順治監督とは『北のカナリアたち』以来13年ぶりの再タッグ。主人公を支える夫役で佐藤浩市、登頂の相棒で親友役に天海祐希、主人公の青年期をのんが演じる。

©2024「SPIRIT WORLD」製作委員会
監督：エリック・クー　脚本：エドワード・クー　金沢知樹　出演：カトリーヌ・ドヌーヴ　竹野内豊　堺正章　風吹ジュン　でんでん　鈴木慶一　細野晴臣　斎藤工

12/20(土)～1/5(月)　SPIRIT WORLD スピリットワールド

（2024／日本・シンガポール・フランス／97分）

フランスの名優カトリーヌ・ドヌーヴを主演に迎え、迷える大人たちの希望と再生を描くファンタジードラマ。日本・フランス・シンガポールの合作映画で、群馬県高崎市や千葉県いすみ市で撮影が行われた。日本で命を落としたフランス人歌手が、死後の世界で亡くなった日本人男性と出会い、見えない存在として彼の息子を見守る旅に出る。竹野内豊、堺正章、風吹ジュンらが共演し、メガホンを取ったのは、シンガポールの映画監督エリック・クー。



©Netflix
監督・製作：キャスリン・ビグロー　製作・脚本：ノア・オッペンハイム　出演：イドリス・エルバ　レベッカ・ファーガソン　ガブリエル・バッソ　ジャレッド・ハリス　グレタ・リー　ジェイソン・クラーク

12/24(水)～1/2(金)　ハウス・オブ・ダイナマイト

（2023／アメリカ／112分）

女性監督として初めてアカデミー監督賞を受賞した『ハート・ロッカー』や『ゼロ・ダーク・サーティ』で知られるキャスリン・ビグロー監督が8年ぶりに手がけたポリティカルサスペンス。ある日、出所不明の一発のミサイルがアメリカに向けて発射される。ミサイルは誰が仕組み、どこから放たれたのか。政府は混乱に陥り、タイムリミットが迫る中で対処法をめぐって議論が巻き起こる。イドリス・エルバ、レベッカ・ファーガソンを筆頭に豪華キャストが集結。

©2025「フジコ・ヘミング　永遠の音色」フィルムパートナーズ
監督・企画・構成・撮影・編集：小松莊一良　ナレーション：菅野美穂
出演：フジコ・ヘミング　大月ウルフ　エバ・ゲオルギー・ヘミング

12/27(土)～1/9(金)　フジコ・ヘミング　永遠の音色

（2025／日本／91分）

2024年4月に92歳で他界した世界的ピアニスト、フジコ・ヘミングの生涯に迫った最後のドキュメンタリー。圧巻の「ラ・カンパネラ」や名曲の数々、貴重なオリジナル曲など初公開を含む演奏シーンをはじめ、フジコ本人のインタビュー映像や絵日記、異母妹エヴァや俳優の弟ウルフの証言などを収録。さまざまな苦難を乗り越え、60代で人気ピアニストとなったフジコの波乱万丈な人生を振り返る。

©2025「旅と日々」製作委員会
監督・脚本：三宅唱　原作：つげ義春　出演：シム・ウンギョン　河合優実　高田万作　斉藤陽一郎　松浦慎一郎　足立智充　佐野史郎　堤真一

12/27(土)～終了日未定　旅と日々　☆庄内ロケ

（2025／日本／89分）

つげ義春の短編漫画『海辺の叙景』『ほんやら洞のべんさん』を原作に、『夜明けのすべて』の三宅唱が監督・脚本を手がけたドラマ。執筆に行き詰まった脚本家が、旅先での出会いをきっかけに人生と向き合っていく様子を描く。『新聞記者』のシム・ウンギョンが主演、堤真一、河合優実らが共演。第78回ロカルノ国際映画祭インターナショナルコンペティション部門に出品され、日本映画としては18年ぶりとなる最高賞の金豹賞を受賞した。

©2025 日本すみっコぐらし協会映画部
監督：イワタナオミ　原作：サンエックス　脚本：角田貴志
主題歌：木村カエラ　ナレーション：井ノ原快彦　本上まなみ

12/27(土)～1/12(月)　映画 すみっコぐらし 空の王国とふたりのコ

（2025／日本／68分）

すみっこに集まりがちなキャラクター「すみっコ」たちの物語を描いた劇場アニメ『映画 すみっコぐらし』シリーズの第4弾。雨の日が続くすみっコの町に、ある日突然空から空の王国の「おうじ」と「おつきのコ」が落ちてくる。深刻な水不足に陥っているという彼らの国を救うため、すみっコたちは雲の上へと冒険に旅立つ。アニメ『おばけずかん！』などを手がけたイワタナオミが監督を務め、ナレーションを俳優の井ノ原快彦と本上まなみが担当した。

©2025 映画「盤上の向日葵」製作委員会
監督・脚本・編集：熊澤尚人　原作：柚月裕子　出演：坂口健太郎　佐々木蔵之介　土屋太鳳　高杉真宙　菅田将暉　柄本明　尾上右近　木村多江　小日向文世　渡辺謙

12/27(土)～1/16(金)　盤上の向日葵

（2025／日本／123分）

『孤狼の血』で知られる山形市在住の作家・柚月裕子の同名小説を映画化。昭和から平成へと続く激動の時代を背景に、過酷な人生を生きる天才棋士の光と闇を描くヒューマンミステリー。身元不明の白骨死体と共にこの世に7組しか現存しない希少な将棋駒が発見され、容疑者となったひとりの天才棋士の哀しい過去が暴かれる。謎に包まれた天才棋士を坂口健太郎、伝説の賭け将棋の真剣師を渡辺謙が演じ、主人公の婚約者という映画版オリジナルのキャラクターで土屋太鳳が共演。

© 2024 Media Asia Film Production Limited Entertaining Power Co. Limited One Cool Film Production Limited Lian Ray Pictures Co., Ltd All Rights Reserved.
監督：ソイ・チョン　音楽：川井憲次　アクション監督：谷垣健治　出演：ルイス・クー　レイモンド・ラム　テレンス・ラウ　トニー・ウー　リッチー・レン　ケニー・ウォン　サモ・ハン

12/31(水)～1/5(月)　トワイライト・ウォリアーズ 決戦！九龍城砦

（2024／香港／125分）PG12

1980年代の香港、迷宮のような巨大スラム街・九龍城砦（きゅうりゅうじょうさい）を舞台に、無数の黒社会の男たちが覇権を争い死闘を繰り広げるアクション大作。5000万香港ドル（＝約9億円）をかけて制作した九龍城砦のセットで撮影を行った。『るろうに剣心』シリーズの谷垣健治がアクション監督を務め、『インビジブル・スパイ』のルイス・クーが主演、香港映画界のレジェンドであるサモ・ハンやアーロン・クォック、リッチー・レンら豪華キャストが共演。

©Pianoforte
監督：ヤヴゲ・ビュンテク　出演：アレクサンダー・ガシェヴ　レオノーラ・アルメリーニ　エヴァ・ゲヴォルギヤン　ラオ・ハオ　シェル・カンドッティ　マルチン・ヴィエチョク

1/3(土)～1/9(金)　ピアノフォルテ

（2023／ポーランド／89分）

多くの世界的ピアニストを輩出してきた、世界最古かつ最高峰の舞台であるショパン国際ピアノコンクール（ショパンの出身国ポーランドの首都ワルシャワで5年に1度開催）に挑む若きピアニストたちに迫ったドキュメンタリー。本作では反田恭平さんと小林愛実さんの日本人2人が入賞した2021年の第18回大会をクローズアップ。コロナ禍のため1年延期となったこの大舞台に臨む6人の出場者に密着し、彼らの情熱を余すところなく映し出す。

© 劇場版ゾンビランドサガ製作委員会
総監督：宇田鋼之介　監督：佐藤威　石田貴史　脚本：村越繁　出演：宮野真守　本渡楓　田野アサミ　種田梨沙　河瀬茉希　衣川里佳　田中美海　三石琴乃　小野大輔

1/3(土)～1/16(金)　ゾンビランドサガ ゆめぎんがパラダイス

（2025／日本／120分）

ゾンビとして復活した伝説の少女たちが佐賀のご当地アイドルとして奮闘する姿を描いたTVアニメ『ゾンビランドサガ』シリーズの劇場版。アイドルを夢見ていた高校生・源さくら、伝説の特攻隊長・二階堂サキ、伝説の平成アイドル・水野愛、伝説の昭和アイドル・紺野純子、伝説の幕末の花魁・ゆうぎり、伝説の天才子役・星野リリィ、そして伝説の山田たえの7人で構成された佐賀のご当地アイドル〈フランシュシュ〉が、佐賀万博開催を目前に突如出現した巨大宇宙船による侵略を止めるべく佐賀最大の危機に立ち向かう。

©2025「港のひかり」製作委員会
監督・脚本：藤井道人　企画：河村光庸　撮影：木村大作　出演：舘ひろし　眞栄田郷敦　尾上眞秀　黒島結菜　斎藤工　ピエール瀧　笹野高史　椎名桔平

1/3(土)～1/16(金)　港のひかり

（2025／日本／118分）PG12

北陸の港町を舞台に、過去を捨てた元ヤクザの漁師と目の見えない少年、親子以上に歳の離れたふたりの十数年にわたる絆を描くヒューマンドラマ。『正体』の藤井道人が監督と脚本を務め、数々の名作を手がけてきた撮影監督・木村大作が全編35mmのフィルムカメラで撮影。舘ひろしが元ヤクザの漁師役で7年ぶりの単独主演を果たし、孤独な盲目の少年・幸太を歌舞伎界の新星・尾上眞秀、成長し刑事となった青年・幸太を眞栄田郷敦がそれぞれ演じた。

©2025「バレンと小刀」製作委員会
監督：松本貴子　プロデューサー：松本智恵　出演：草間彌生　ロッカクアヤコ　アントニー・ゴームリー　ニック・ウォーカー　李禹煥

1/3(土)～1/16(金)　バレンと小刀 時代をつなぐ浮世絵物語

（2025／日本／109分）

江戸時代に隆盛を極め、ゴッホなど印象派の画家たちにも多大なる影響を与えた浮世絵。浮世絵版画の技術を現代に受け継ぐ「アダチ版画研究所」の職人たちが、現代アーティストの作品を版画にするプロジェクトに挑戦する姿を追ったドキュメンタリー。草間彌生、ロッカクアヤコ、ニック・ウォーカー、アントニー・ゴームリーら38名のアーティストを絵師に迎え、約5年かけて86作品の新たな現代の浮世絵を制作し、2025年春に東京国立博物館で開催される「浮世絵現代」展での発表を目指す。

©2025「君の顔では泣けない」製作委員会
監督・脚本：坂下雄一郎　原作：君嶋彼方　出演：芳根京子　高橋海人　中沢元紀　林裕太　石川瑠華　前野朋哉　前原滉　大塚寧々　赤堀雅秋　片岡礼子　山中崇

1/10(土)～1/30(日)　君の顔では泣けない

（2025／日本／123分）

2021年に出版された君嶋彼方の同名デビュー小説を、芳根京子主演、高橋海人共演で映画化。高校1年生の坂平陸と水村まなみは、プールに一緒に落ちたことをきっかけに心と体が入れ替わってしまう。そのことを周囲に秘密にしたまま日常生活を送りはじめる2人。陸としてそつなく生きるまなみとは異なり、不器用な陸は入れ替わったことをなかなか受け入れられず、戸惑っているうちに15年の月日が流れ、初恋、就職、結婚、出産と人生の転機を入れ替わったまま経験していくが…。

Courtesy of TPS Productions/ Focus Features ©2025 All Rights Reserved
監督・製作・原案：ウェス・アンダーソン　出演：ベニチオ・デル・トロ　エミア・スレアプレトン　スカーレット・ヨハンソン　トム・ハンクス　ビル・マーレイ

1/10(土)～1/16(金)　ザ・ザ・コルダのフェニキア計画

（2025／アメリカ・ドイツ／102分）

ウェス・アンダーソン監督がベニチオ・デル・トロを主演に迎えたブラックコメディ。独立した複数の都市国家からなる架空の大独立国フェニキアを舞台に、6度の暗殺未遂を生き延びた大富豪ザ・ザ・コルダが、ビジネスの危機的状況を打開するため疎遠だった娘と共に資金調達の旅に出る。ザ・ザの娘で修道女リーズル役をケイト・ウィンスレットの実娘ミア・スレアプレトンが務めた。第78回カンヌ国際映画祭コンペティション部門出品。

© 大橋裕之　ロックンロール・マウンテン　Tip Top
監督・脚本・絵コンテ・キャラクターデザイン・作画監督・美術監督・編集：岩井澤健治
原作：大橋裕之　声の出演：坂本慎太郎　前野朋哉　荒澤瞬人　駒井蓮　岡村靖幸　竹中直人

1/10(土)～1/19(月)　音楽〈ブラッシュアップ版〉

（2025／日本／71分）

漫画家・大橋裕之の『音楽と漫画』を原作に、『ひゃくえむ。』の岩井澤健治監督が2020年にアニメ映画化した『音楽』のブラッシュアップ版。楽器を触ったこともない不良学生たちが、思いつきでバンドを組むことから始まるロック奇譚が描かれる。実写の動きをトレースするロトスコープという手法で4万枚以上の作画を手描きし、7年半かけて映像化した劇場公開版から更に半年かけて岩井澤監督が200カット以上を描き直した。

©2025「天使の集まる島」製作委員会
監督・プロデュース・編集：堀井綾香　脚本：川原杏奈
出演：青木柚　さとうほなみ　ジャド・ヒダー　福地桃子　平井亜門

1/10(土)～1/19(月)　天使の集まる島

（2025／日本・マレーシア／33分）

堀井綾香監督の中編『飛べない天使』の前日譚にあたる日本＝マレーシア合作の短編ファンタジードラマ。マレーシア・ペナン島の世界遺産の街ジョージタウンを舞台に、闘病生活を送る主人公の青年の空想の旅を描く。主人公の聡太郎を『飛べない天使』に引き続き青木柚、“天使”と呼ばれる女性ミミをさとうほなみ、ミミを愛する男性ダニエルをマレーシア出身の俳優ジャド・ヒダーが演じる。『飛べない天使』に出演した福地桃子も再び登場。

©「爽子の衝動」製作委員会
監督・脚本・編集・プロデューサー：戸田彬弘　出演：古澤メイ　鵜瀬英正　小川黎　菊池豪　遠藤隆太　木寺響　木村恒介　黒沢あすか　梅田誠弘

1/10(土)～1/23(金)　爽子の衝動

（2025／日本／45分）PG12

『市子』の戸田彬弘監督が手がけたオリジナル中編作品。生活保護の受給を断念させる水際作戦やヤングケアラー問題をテーマに、絶望的な環境での生活を強いられる女性の姿を描く。四肢麻痺と失明を抱える父・保と暮らす19歳の爽子は、絵を学びたいという夢を内に秘めたまま、介護と生活費のために日々を費やしている。生活保護の申請も通らず、社会から孤立していく中、唯一頼りにしていた訪問介護士が交代となり不安を募らせる。

●諸般の事情により上映作品の中止や上映時間が変更になる場合がございます。●当館は各回完全入替制・全席指定席です。　PG12・・・小学生には保護者の助言・指導が必要です。　R15+・・・15歳以上の方鑑賞可。　R18+・・・18歳以上の方鑑賞可。